

事前提出意見一覧

資料2

分類	委員	内容	事務局対応
提言書についての意見	—	事前提出なし	—
提言別紙についての意見	—	事前提出なし	—
次年度以降の進行管理への提言	齋藤委員	今回は多様な意見を求めることを中心に進められたと思いますが、次年度以降は計画の遅れが懸念されますので、スムーズに計画が進められるよう、全体の進行をひとつのテーマとして2～3ヶ月に1回程度の頻度で問題点を話し合うようにしたらどうでしょうか。	本日の第7回部会においてご議論いただきたいと思います。議論結果を踏まえて、提言書に反映いたします。
次年度以降の進行管理への提言	齋藤委員	委員の欠席も目立ちましたので、人員を絞ってもいいのではないのでしょうか。	本日の第7回部会においてご議論いただきたいと思います。議論結果を踏まえて、提言書に反映いたします。
その他	加藤委員	現在東電の一部のみ凍土壁を設置したが、地下水が増加し流出した件について、対応として東電の土地全集を凍土壁にすれば地下水は汚染されずに海へ流れていく。しかし一部は敷地内に入った分は汲み上げる。また、現在タンクの汚染水は高熱炉(約1800度)を至急作り高濃度汚染水のみを原発内に中間置き場を作り一時保管することにより漁業が再開できるし、タンクの数も減らすことができ、原発内での作業も従来よりはスムーズにできると思うため、双葉郡として原発及び国へ申し入れできないのでしょうか。	これまでと同様、町としても東電および国に対して、事故原発の安全性の確保を強く申し入れていきます。また、委員ご指摘の汚染水対策の方法についてですが、技術的に非常に専門性の高い内容となっておりますので、国の説明や専門家の意見を注視しながら、よりよい対応方法があれば、双葉郡と連携した中で、国に対し申し入れを行っていきます。